

祥雲閣 たより vol.79

令和8年4月20日発行

大崎市祥雲閣 端午の節句

こどもの日を祝おう

祥雲閣の庭園では花の盛りをおかえた桜が花風に揺れ、花びらが散っています。さわやかな新緑の季節が訪れようとしています。

祥雲閣ではお子さまの健やかな成長を願う『端午の節句』にあわせ、昨年に引き続きこどもの日のイベントを開催します。

呈茶（抹茶と柏餅・お子様用）や五月人形や手芸作品の展示、折り紙で鯉のぼり作り、手織り体験でコースター作りなど皆さまに楽しんでいただける内容をご用意しました。

皆さまお誘いあわせの上、ぜひお越しください。



和室

数量限定
参加無料

鯉のぼりづくり

五月人形展示



研修室

数量
限定

手織り体験



10:00～15:00 予約不要

各日 先着15名 材料費 500円

詳しくは裏面をご覧ください。

呈茶

数量
限定

呈茶 抹茶・柏餅のセット
(800円)

お子様用の呈茶

とうもろこしのひげ茶・

鯉のぼりあられのセット(200円)



日時

令和8年 5月2日(土) 3日(日)祝

10:00～16:00 (最終受付15:30)

場所 大崎市祥雲閣

住所 大崎市古川福沼一丁目2-2

電話番号 0229-24-3385

開館時間 9:00～17:00 (月曜休館 (祝日の場合は翌日))



公式Instagram
追加はこちらから



いづもこの日を祝おう

大崎市祥雲閣 端午の節句



季節をたのしむ ～新茶～



立春から88日目、毎年5月2日頃は「八十八夜」です。新茶の茶摘みが最盛期を迎え、新茶が出回り始める時期です。

八十八夜に摘まれた新茶は「八十八」という数字がおめでたい「末広がり」を意味し、縁起物とされています。新茶を飲むことで健康長寿を願う習慣があります。

祥雲閣では独特のうまみと甘味の一煎目と程よい渋味・香りにさっぱりとした後味の二煎目を味わっていただけます。

季節の和菓子 ～柏餅～



端午の節句に柏餅を食べる風習は、江戸時代に日本で生まれました。柏餅の葉は次の新しい芽が育つまで古い葉が落ちないことから、子孫繁栄の願いが込められ「端午の節句」に欠かせない和菓子です。

祥雲閣カレンダー ※■は休館日です。

5月							6月							7月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2		1	2	3	4	5	6				1	2	3	4
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30					26	27	28	29	30	31	
31																				

祥雲閣のご案内

交通案内 JR古川駅から徒歩約20分
東北自動車道古川インターから車で約10分

住所 大崎市古川福沼一丁目2-2

開館時間 9:00～17:00

(最終入館16:30)

休館日 毎週月曜日

(月曜が祝日の場合はその翌日)

入館料 無料

連絡先 TEL・FAX 0229-24-3385

